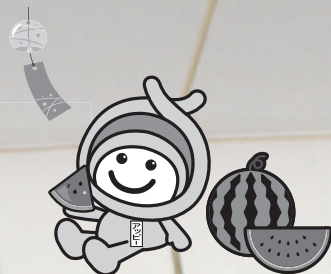


# あ げ お 議会 だより



第212号  
令和6年(2024)  
8月号

発行 / 上尾市議会  
編集 / 議会報編集委員会  
〒362-8501  
埼玉県上尾市本町3-1-1  
電話 048-775-9467



写真：外国人のための浴衣着付け教室（上尾市国際交流協会主催）に参加した皆さん

主  
な  
内  
容

審議された主な議案	2 ページ
委員会審査	3 ページ
討論	4 ページ
提出議案・請願とその結果	5 ページ
市政に対する一般質問	6～15 ページ
委員会活動	16 ページ



※本会議の映像はLIVE・録画配信し、委員会などの映像は録画配信しています。

上尾市 議会中継



Pick Up!

# 6月定例会で審議された主な議案

6月定例会で審議された議案は、市長提出議案15件、議員提出議案7件の計22件で、19件を原案のとおり可決・承認・同意・異議なき旨答申し、3件を否決しました。

## 主な事業

議案第37号 令和6年度上尾市一般会計補正予算（第2号） 歳入歳出補正額 28億5133万9000円

### 定額減税調整給付金を含む補正予算を可決

新型コロナワクチン予防接種の定期接種化に伴う費用を計上

4億4515万6000円



イメージ写真

#### ■定額減税調整給付金

所得税・個人住民税の定額減税の実施に伴い、減税しきれないと見込まれる納税者に支給

#### ■物価高騰支援給付金・物価高騰くらし支援給付金

令和6年度から新たに住民税非課税世帯および均等割のみ課税世帯となった世帯に支給

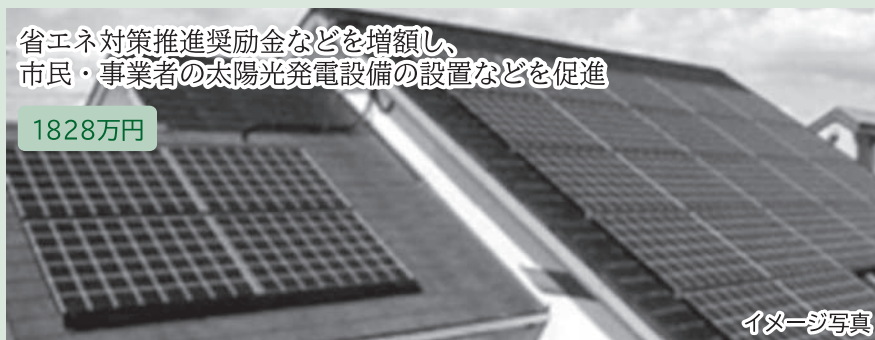
23億円



イメージ写真

省エネ対策推進奨励金などを増額し、市民・事業者の太陽光発電設備の設置などを促進

1828万円



イメージ写真

クラウドファンディングなどの寄付金を活用し、上尾丸山公園にインクルーシブ遊具を設置

300万円



神奈川県立あいかわ公園における導入事例（神奈川県提供）

## 6月定例会の動き

6月3日

本会議 開会、市長提出議案の上程および説明

6月6日

本会議 提出議案に対する質疑、委員会付託

6月7日

委員会 総務・都市整備消防常任委員会

6月10日

委員会 文教経済・健康福祉常任委員会

6月12・13・14・17・18・19日

本会議 一般質問

6月21日

本会議 委員長報告、討論、採決、議員提出議案の上程、説明、討論、採決、閉会

※その他の議案や議決結果については、5ページ「令和6年6月定例会提出議案・請願とその結果」をご参照ください。

委員会審査から

総務、都市整備消防、文教経済、健康福祉の各常任委員会は、付託された議案などの審査を行いました。以下、審査の過程で取り上げられた質疑の中から主なものについてお知らせします。

都市整備消防常任委員会

補正予算 上尾丸山公園にインクルーシブ遊具を設置

〈父モ〉 上尾丸山公園大型遊具リニューアルに伴い、ふるさと納税型クラウドファンディングなどを活用して「インクルーシブぶらんこ」を設置するもの。

委員 遊具の選定理由は。

答 市内の子育て支援施設において、「インクルーシブぶらんこ」と「ふわふわクッションマット」を候補としてアンケートを実施し、その結果を基に選定した。

委員 クラウドファンディングと一般寄付の件数は。また一般寄付の最高額は幾らか。

答 ふるさと納税型クラウドファンディングは個人が110人、企業が1件である。一般寄付は個人

が2人、団体・企業が9件で、最高額は50万円である。



上尾丸山公園（大型遊具はリニューアル予定）

文教経済常任委員会

補正予算 地球温暖化対策のため各種奨励金を増額

〈父モ〉 自主的に省エネ対策活動に取り組む市民、事業者に対して交付する省エネ対策推進奨励金および住宅断熱改修奨励金を増額するもの。

委員 補助対象製品は1個数十万円するものが多いが、奨励金を数万円程度引き上げることでのどのような効果を期待しているのか。

答 例えば、家庭用燃料電池コージェネレーションシステム（エネファーム）は上限額を2万円から

5万円に引き上げるが、国からも18万円の補助金メニューがあるため、これに市が上乘せすることで効果が上がるものと考えている。

委員 給湯器関係では3つのメニューがあるが、選定理由は。

答 太陽光自家消費促進型給湯器（おひさまエコキュート）は一般に普及しているエコキュートの更新に伴い普及を推進していきたい。また、ハイブリッド給湯器、エネファームはまだ普及が進んでいないことから、促進していきたい。

委員 市民への周知方法は。

答 広報あげおや市ホームページに掲載する他、ハウスメーカーなどの事業者から顧客に周知してもらえるように協力を仰ぎたい。また、断熱改修については市民向けのセミナーを開催し、市民に知っていただく機会を増やしたい。

総務常任委員会

専決処分 個人市民税の定額減税などを実施

〈父モ〉 合計所得金額が1805万円以下の納税者の個人市民税について、令和6年度分の所得割額から、納税者および扶養親族1人につき1万円を減税することなど

を盛り込んだ法律が公布されたことに伴い、緊急に上尾市税条例を改正する必要があることから専決処分し、その承認を求めるもの。

委員 個人市民税が減税される対象世帯数は。

答 対象世帯数は把握していないが、納税義務者数は11万4千人程度である。

健康福祉常任委員会

専決処分 低所得者に対する国保税の軽減措置の対象を拡大

〈父モ〉 国民健康保険税の軽減措置の対象となる世帯の判定に用いる所得基準額が引き上げとなる政令が公布されたことに伴い、緊急に上尾市国民健康保険税条例を改正する必要が生じたことから専決処分し、その承認を求めるもの。

委員 所得基準額の引き上げにより、対象となる人数はどの程度増えるのか。

答 令和5年度の課税結果を基に試算すると、5割軽減は引き上げ前が6263人、引き上げ後が6402人で139人の増、2割軽減は引き上げ前が5710人、引き上げ後が5771人で、61人の増となる。

討論

令和6年度上尾市一般会計補正予算(第2号)

**賛成** 政策・市民の声 地球温暖化対策推進事業については、今後のゼロカーボン施策のさらなる展開につながるよう、他の施策とも連動させ、市民にその重要性が十分に理解されるように周知方法を工夫して進めてほしい。

**賛成** 公明党 丸山公園に設置される「インクルーシブぶらんこ」は障がいのある子もいない子も共に遊べるもので、優しい公園づくりを高く評価する。また、上平中学校拡張用地取得は、生徒の安全確保などの課題が解消できる。

**反対** 無党派(坂東) 新型コロナウイルス接種により体調を崩したり、死亡に至ったりするケースもある中、定期接種化には反対する。また地球温暖化対策の奨励金は全員が享受できるものではなく、使いやすい奨励金とは思えない。

**反対** 志誠ネット フリースクールなどに通う家庭への支援に市費を投じることは議論の余地がある。教員の給与は県や国の負担で

あること、市外の家庭には支給されず不公平になることなどから、県ないし国の助成が適切と考える。

**賛成** 政策・市民の声 本市でも増え続ける不登校児童生徒への対策を講じることは大変重要だが、利用者への経済的支援には議論が必要な課題が多いため、選択肢の一つと位置付けてほしい。

**賛成** 日本共産党 不登校児童生徒の送迎や見守りのために仕事を辞めざるを得ない家庭もある。フリースクールなどの利用者への支援は全ての子どもの教育権、成長する権利を保障するものである。

**賛成** 日本共産党 ヤングケアラーを早期に見出し、子どもの学習権を保障する必要がある。ただし、悩みがあっても話したくないという子どももあり、発見に困難な面がある他、調査する上で家庭への十分な配慮も必要と考える。

**反対** 無党派(津田) 個人が特定される調査となれば、家族の世話をしているという入りの設問すら拒まれ、実態の把握が一層難しくなる。近道をせず、福祉部門と連携するための制度設計を図るなど、万全の態勢で臨んでほしい。

「武器輸出禁止の意見書」を国に

提出することを求める請願

**賛成** 日本共産党 世界で戦争が広がる中、日本は外交努力によって平和交渉で力を発揮すべきである。憲法の平和主義を守り、専守防衛を順守した安全保障に徹底し、国民の命を守ることが必要である。

災害発生時における信頼性の高い情報連携体制の構築への支援を求める意見書

**反対** 無党派(坂東) 日本は政府からの情報を流すメディアの信頼性が高いと思えない。政府の情報そのものに信頼性があるものばかりだと思えない。公的情報サイトや政府認定のアプリケーションなども信頼できると思えない。

地方創生に貢献するサーキュラーエコノミー(循環経済)の一層の推進を求める意見書

**反対** 無党派(秋山) 民間企業との協働が前提となっている部分について、民間企業との連携がなければ補助金が出ないという形になってしまふことを危惧している。公共を大事にすることが市民の税金を有効に使う手段だ思う。

政党助成制度の廃止を求める意見書

**反対** 無党派(坂東) 政党助成制度の廃止よりも、大企業の優遇政策の原因となっている企業団体

献金や政治資金パーティーを廃止することが先決だと考えるため、この意見書に対しては反対する。

採択された請願

令和6年6月定例会において、次の請願が採択されました。

上尾市の不登校対策に関する請願  
 請願者/樽井花子氏  
 ヤングケアラー調査に関する請願  
 請願者/神田和彦氏

同意した人事案件

■固定資産評価審査委員会委員に石井依子氏

固定資産評価審査委員会委員・伊澤愛子氏の任期が令和6年7月6日で満了となるため、後任として石井依子氏を選任することについて同意を求められ、全会一致で同意しました。

■人権擁護委員に萩原和子氏  
 人権擁護委員・小川久雄氏の任期が令和6年9月30日で満了となるため、後任として萩原和子氏を人権擁護委員の候補者として推薦することについて意見を求められ、全会一致で異議なき旨答申しました。

令和6年6月定例会 提出議案・請願とその結果

※詳しくは市議会ホームページの「議案」をご覧ください。



◎市長提出議案（15件）

議案番号	議案名	議決結果
議案第37号	令和6年度上尾市一般会計補正予算（第2号）	原案可決
議案第38号	上尾市個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例の制定について	
議案第39号	町の区域を新たに画し、及び変更することに伴う関係条例の整理に関する条例の制定について	
議案第40号	企業版ふるさとあげお応援基金条例の一部を改正する条例の制定について	
議案第41号	上尾市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	
議案第42号	財産の取得について【高規格救急自動車】	
議案第43号	財産の取得について【災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車】	
議案第44号	財産の取得について【水槽付消防ポンプ自動車】	
議案第45号	財産の取得について【救助工作車】	
議案第46号	財産の取得について【消防ポンプ自動車】	
議案第47号	専決処分承認を求めることについて【上尾市税条例の一部を改正する条例】	承認
議案第48号	専決処分承認を求めることについて【上尾市国民健康保険税条例の一部を改正する条例】	
議案第49号	専決処分承認を求めることについて【令和6年度上尾市一般会計補正予算（第1号）】	
議案第50号	固定資産評価審査委員会委員の選任について【石井依子氏】	同意
諮問第1号	人権擁護委員の候補者の推薦につき議会の意見を求めることについて【萩原和子氏】	異議なき旨答申

◎請願（3件）

請願番号	請願名	議決結果
請願第2号	上尾市の不登校対策に関する請願	採 択
請願第3号	ヤングケアラー調査に関する請願	
請願第4号	「武器輸出禁止の意見書」を国に提出することを求める請願	不採 択

◎議員提出議案（7件）

議案番号	議案名	議決結果
議第8号議案	若者のオーバードーズ（薬物の過剰摂取）防止対策の強化を求める意見書	原案可決
議第9号議案	聴覚補助機器等の積極的な活用への支援を求める意見書	
議第10号議案	災害発生時における信頼性の高い情報連携体制の構築への支援を求める意見書	
議第11号議案	地方創生に貢献するサーキュラーエコノミー（循環経済）の一層の推進を求める意見書	
議第12号議案	国民健康保険税の引下げのために国庫負担の大幅増を求める意見書	原案否決
議第13号議案	合意のない「共同親権」は認めない条文を明記し、個人の尊重に依拠した民法を求める意見書	
議第14号議案	政党助成制度の廃止を求める意見書	

◎本議会において賛否が分かれた議案・請願

※○=賛成 ×=反対 ■=退席 ▲=除斥 ※議長は採決に加わりません。  
※一覧に掲載されていない議案は、全会一致で可決・承認・同意・異議なき旨答申。

議案（請願）番号	議決結果	あげお志誠ネットワーク					政策フォーラム・市民の声あげお					公明党上尾市議団				日本共産党上尾市議団				会派に属さない議員											
		黒須喜美雄	小池佑弥	田島純	原田嘉明	新道龍一	田中一崇	斎藤哲雄	星野良行	大室尚	稲村久美子	樋口敦	荒川昌佑	矢口豊人	海老原直矢	浦和三郎	井上茂	篠原文子	島津秋男	小高進	井上智則	前島るり	井上淳子	轟信一	新藤孝子	平田通子	坂東知子	津田ひとみ	秋山かほる	金澤祥子	佐藤恵理子
議案第37号	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
請願第2号	採 択	×	×	×	×	×	×	×	×	▲	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
請願第3号	採 択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請願第4号	不採 択	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	■	○	×	○	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×
議第8号議案	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第10号議案	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第11号議案	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第12号議案	原案否決	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	×	○	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議第13号議案	原案否決	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議第14号議案	原案否決	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×



## 一般質問とは？

議員が、市に対し事務の執行状況や将来に対する方針などについて、報告・説明を求めたり、質問したりすることです。

6月定例会では、6月12・13・14・17・18・19日の6日間行われ、27人の議員が市政全般94項目にわたって市当局の見解を求めました。また6日間で延べ108人の皆さんが議会を傍聴しました。

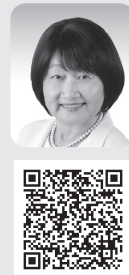
※一部を抜粋し掲載しています。詳細は、8月下旬に市議会ホームページで公開予定です。

各議員の2次元コードをスマートフォンのカメラ機能などで読み取ることで、一般質問の録画映像を視聴できます。



### 上尾のにぎわいと経済効果／奨学金返済などで若者支援を

前島るり（公明党）



上尾のにぎわいと経済効果

効果

**問** ご当地グルメ「上尾串ぎょうざ」について、地域の名物として国に保護され、ブランド力の増大につながる「地域団体商標制度」への登録を提案したが、その後の進捗状況は。

**答** 提案された制度の活用については、現在関係機関と協議し、登録に向け進めている。

**問** 令和9年に開設が予定されているスポーツ科学拠点施設の整備に伴い、市に新たになぎわい創出がなされることが期待されるが、具体的な考えを伺う。

**答** 本市のにぎわい創出において転換期になる好機と捉えている。

今後の展開を注視し、施設の内容に沿った施策を検討していく。

奨学金返済などで若者支援を

支援を

**問** 国の交付税などを活用して、市民が利用しやすく、若者支援となるような奨学金制度の実施を提案するが、市の見解は。

**答** 制度の見直しに当たっては、国の特別交付税措置を活用した奨学金返済支援を含め、市民が利用しやすく若者支援となるような奨学金制度の検討を進めていきたい。

#### その他の質問

- 体育の見学と水泳授業は生徒の心情に配慮を
- 高齢者サービス
- 市役所トイレの改善と男性でもオムツ替えのできるスペースを

### 「にぎわい」を科学し、根拠あるまちづくりを

小池佑弥（志誠ネット）



市長の考える「にぎわい」の定義を伺う。

**答** 人の流れ・活気などをイメージしており、具体的には人々が集い豊かな時間を過ごせることと捉えている。

**問** 現在の駅周辺のにぎわいに対する評価は。

**答** 以前よりも活気ある街になってきていると実感している。

**問** 駅周辺はテナントの空き状況から見ても「集まる場所」ではなく「通過する場所」になっている懸念がある。回遊性や滞留性を数値化しEBPMに基づく施策を投じるべきと考えるが、設定している指標はあるか。

**答** 具体的な指標は設定していない。

図書館は市民が同じ場所で同じ時間を過ごす重要な施設だが、本館の更新に当たり施設の複合化や東口再々開発の可能性も踏まえ、より駅に近接した立地へ移転することへの見解を伺う。

**問** 図書館は市民が同じ場所で同じ時間を過ごす重要な施設だが、本館の更新に当たり施設の複合化や東口再々開発の可能性も踏まえ、より駅に近接した立地へ移転することへの見解を伺う。

**答** 民間施設のテナントを賃借するモデルでは、より上尾駅に近接した立地の可能性も含めて検討している。

**問** 県が進めるスポーツ科学拠点施設整備は本市にとつてにぎわい創出の好機であるが、どのような影響を想定しているか。

**答** 市外、県外からも多くの人が訪れ、地域のにぎわい創出へとつながるものと考えている。

#### その他の質問

- 市財政
- 広報広聴
- 高齢者支援

### 上平中学校の施設更新計画は

小高 進（公明党）



しているが、仮設校舎を建設する場合には多額の経費を要する見通しであった。

**問** 本年度の当初予算に上平中学校の校舎等更新設計委託料が計上されているが、施設更新のスケジュールは。

**答** 来年度にかけて更新設計を行い、令和8年度には新体育館の建設を始め、令和9年度の竣工を予定している。

**問** 今回の補正予算にも用地拡張のための予算が計上されているが、学校敷地を拡張する理由を伺う。

**答** 現在の校庭は狭く、授業や部活動の際に校舎と離れた第2グラウンドに移動することがあり、安全確保などに課題を抱えている。また、構造的耐用年数を迎える体育館の建て替えや施設の更新を予定

このような中、敷地の拡張を実現できれば、課題の解消と恒久的な教育環境の向上が図られる他、仮設校舎の建設費用が不要となり、効率的な財政運営に寄与することができる。

**問** 特別教室のエアコン設置の考え方を伺う。

**答** 来年度から、特別教室の使用頻度の高い中学校から順次エアコン設置の準備を進めていく。また、上平中学校などは、施設更新のタイミングで設置していく。

#### その他の質問

- 自治会
- ぐるっとくん
- フレイル予防
- 自転車のマナー
- 公民館のトイレ

### 学校施設更新計画の進捗状況は

星野良行（志誠ネット）



の意見を反映することが重要である。また、市の財政負担の平準化に考慮し、計画的かつ効率的に施設更新を進めることが課題である。

**問** 学校施設更新計画は、これまで議会でも議論され、計画が見直されるなどさまざまな経緯があった。実施計画に基づく今後のスケジュールを伺う。

**答** 上平中学校の更新設計を進め、令和8年度から新体育館の建設に着手したい。また、太平洋中学校と平方東小学校の更新設計を進め、令和9年度から太平洋中学校の新体育館の建設に着手する予定である。

**問** 今後の課題、重要と考えていることは。

**答** 保護者や児童生徒、未就学児保護者や地域

#### その他の質問

- ごみ処理の今後
- プラスチック製品の扱い
- 生成AIの活用
- 上尾市地域福祉計画

### 学校の現状を把握してさらなる教育環境の改善を

坂東知子（無党派）



な高騰により見通しが立たない中、安定した学校運営を考慮し予算計上したためである。

**問** 議会が全会一致で採択した「小中学校における特別教室及び給食調理室へのエアコン設置に関する請願」への対応状況を伺う。

**答** 特別教室のエアコン設置は、来年度から順次進めていく。給食調理室については、児童生徒の食の安全を確保する観点から、夏季休業中に各学校の給食配膳室へエアコンを設置する準備をしている。

**問** 昨年度の小・中学校の光熱水費の予算額と執行額は。

**答** 当初予算額は合計約5億3千万円で、執行額は合計約3億8千万円であった。予算額と執行額に乖離があるのは、光熱水費の急激

#### その他の質問

- 水道検針及び水道料金・下水道使用料徴収業務
- 学校給食
- 資源回収と西貝塚環境センター
- カーボンニュートラルに向けた取り組み

### 地域間の「住みよさ」の 格差解消のための対策を

海老原直矢（政策・市民の声）



**問** 市民意識調査の地区ごとの「住みよさ」と答えた市民の割合を見ると、原市地区は昭和の調査から一貫して「住みよさ」と答えた割合が少ない。地域間で差が生じている状況が続いているのは不健全であると考えますが、分析は行ってきたか。

**答** 分析をしている。分析結果は。

**問** 分析結果は。

**答** 原市地区の傾向として、公共交通機関や道路環境に関する項目の満足度が低い。

**問** 地域の課題を分析しているかを聞いています。全市的な傾向と比較しても、交通や道路が原市地区の課題として出てきているのか。

**答** 市全体の課題と共に

通している。

**問** そうであれば、なぜこれまで同じ状況で放置されてきたのか。

**答** 市全体の課題として対応していたが結果としてこうなっている。

**問** 市全体で共通した課題に取り組んでも、一部の地区の満足度が低い傾向は変わらないのではないかと。

**答** 各種施策を執行して改善を図っていかれるものと考えている。

**問** 一部の地域の人が「住みよくない」と思っているのであれば対策が必要であると考えますが、副市長の考えは。

**答** 指摘のとおり、地区ごとの課題などをしっかりと分析して、今後の施策につなげるよう検討していく。

#### その他の質問

福祉施策  
事業の精査

### 中核市移行の検討は 市民福祉の視点から進めて

井上 茂（政策・市民の声）



**問** 本市は中核市に移行できる要件を満たしているが、市として検討をしているか。

**答** 国からの調査もあり毎年検討しているが、昨年度は市長の命を受けて、より詳細な検討を行った。中核市への移行で保健所が設置され、地域保健行政の充実や一部の市民サービスの向上が図られる一方で、保健所の建設・改修費用の負担、権限移譲に伴う専門職の確保など、財政面や組織体制の課題がある。

**問** 医療分野など県の業務が市の業務になれば、より市民に近いところで住民サービスが提供できる。平成26年に移行要件が緩和され

た際に、移行を目指して検討したのか。

**答** 平成26年時点で既に地方分権改革の関連法や県の方針により事務移管が行われていたことや、権限移譲に伴う財源の見通しが立たなかつたことから検討を継続することとした。

**問** 中核市になれば、それに見合う仕事に対して交付税が措置される。財政問題はあまり語らずに、市民福祉の視点から調査することが大事だと思うが、今後の方向性は。

**答** 中核市への移行には、財政負担や人員確保の課題などがあることから現段階では難しいが、今後も財政状況や国の動向を注視しながら、慎重に研究を続けていく。

#### その他の質問

組替動議

### 心の健康を取り戻すために 文化的な事業の推進を

稲村久美子（政策・市民の声）



**問** 本市には、どのような文化的な事業があるか。

**答** 合唱祭、邦楽祭、吹奏楽・器楽祭の3部門から成る市民音楽祭を開催しており、参加団体同士が交流する他、市民に音楽鑑賞の場を提供する機会となっている。また、上尾市美術展覧会は本年度で56回を迎え、高校生から高齢者まで幅広い年代からの出品がある。

**問** 年齢や立場、性別などにかかわらず、さまざまな分野を集めた文化祭のようなイベントを開催できないか。

**答** 年齢にかかわらず楽しめる文化的行事の実施は、心豊かな生活を営むためにも大切な

ものと認識している。市民が気軽に文化芸術に触れる機会を提供するとともに、引き続き文化芸術活動の推進を図っていく。

**問** 皆が元気に輝ける参加型文化イベントに

関して、市長の見解は。

**答** 年齢、性別を問わず多くの人が集まるイベントの開催は、市民に元気を与え「みんなで作る みんなが輝くまち あげお」の実現にもつながる。文化的な活動を通じ、多くの市民が集まる多世代交流を推進したい。

#### その他の質問

- 学校へ通えない子や事情のある子の対応
- 保護者の養育環境と子どもへの支援
- 子育て支援としての行政のあり方
- 高齢者の方の社会参加と雇用



### 外国人「1割」の時代へ／ 学校のトイレはキレイな方がイイ！



田島 純 (志誠ネット)



**問** 日本で暮らす外国人が国想定1・5倍の速度で増えている。将来推計人口では在留外国人が2050年

**答** 言葉の壁を早期に払拭できるようなコミュニケーションを取り組むとともに外国人市民が主体的にまちづくりに参画し、ともに活躍できる社会の実現に向けた施策を積極的に展開していく。

**問** 毎日使う学校のトイレは、いつ頃改修されたのか。

**答** 校舎の大規模改修から24年



平成24年に改修された大谷中学校のトイレ (左が改修前、右が改修後)

#### その他の質問

● 公務員のやりがいとは

● 暑くて長い夏対策

● 介護保険制度開始から24年

### 安全に登下校ができる環境を／ 書かない窓口の創設は



井上智則 (公明党)



**問** 安全に登下校ができる環境を

**答** 登下校時の見守りボランティアが集まりにくい現状がある中、どのように増やしていくのか教育委員会の見解を伺う。

**問** ホームページなどを活用して活動の意義や様子を広く周知すること、見守りボランティアの必要性を啓発していきたい。



見守りボランティアが使用する横断旗

#### その他の質問

● 書かない窓口の創設は

● 市民の利便性向上

● や窓口の負担軽減につながる「書かない窓口」の検討状況や今後の方

### 大規模災害に備えた対策を



篠原文子 (公明党)



**問** 市民への防災啓発として、市が実施していることを伺う。

**答** 防災ガイドブックや水害ハザードマップの全戸配布、ウェブ版洪水ハザードマップの公開、上尾市防災士協議会と連携して小・中学校などでのイツモ防災講座やマイ・タイムライン研修の開催などを実施している。また防災冊子の配布や防災啓発DVDの貸し出しも実施している。

**問** 旧耐震基準の住宅への支援の状況は。

**答** 昨年度の補助金交付件数は、既存木造住宅耐震診断が2件、既存木造住宅耐震改修が0件であった。なお無料の簡易耐震診断には

15件の申請があった。

**問** 危険ブロックの補助実績と補助制度の周知状況は。

**答** 昨年度の補助実績は撤去が2件で、築造はなかった。広報誌やホームページの他、必要に応じブロック塀の所有者にもリーフレットで周知している。特に、過去の調査で倒壊のおそれがある通学路上の危険なブロック塀の所有者には、本制度の活用を案内している。



上尾市防災ガイドブック

#### その他の質問

● 市役所窓口等におけるプライバシー保護

● 利便性向上

● 魅力ある街づくり

● ヘルメットロッカー設置

## 子ども・若者に 寄り添った街づくりを

島津秋男（公明党）



**問** 支援が必要なヤングケアラーを早期に発見し支援につなげるための調査が必要であると思うが、市の見解は。

**答** ヤングケアラー本人の心理的負担に配慮し、全児童生徒に貸与されているICT端末を活用して子ども家庭総合支援センターが直接状況を把握する方法などを検討している。

**問** 義務教育が終了した30代までのヤングケアラー、若者ケアラーに対してはどのような支援をしているか。

**答** 市内の県立高校や専門学校などを訪問し、各学校が抱えている生徒の現状や本市のヤングケアラー支援の情報交換をするともに、

出前講座やチラシなどで周知啓発に取り組んでいる。また、市ホームページや広報あけお、

デジタルサイネージなどさまざまな媒体を活用し、子どもや若者に分かりやすい情報発信にも取り組んでいる。

**問** ヤングケアラー、若者ケアラーを支援するための現在の支援体制を伺う。

**答** 福祉、介護、医療、教育などさまざまな関係機関で組織する「上尾子ども支援ネットワーク」や「上尾子ども・若者支援地域協議会」のネットワークを活用し、個別のケースに応じた支援につなげている。

### その他の質問

- 災害時の飲料水、生活用水の確保
- 食品ロス問題の取り組み

## スポーツ科学拠点施設の整備で 市のにぎわい創出を

黒須喜美雄（志誠ネット）



**問** 令和9年度に建設予定の埼玉県スポーツ科学拠点施設の整備に向け、スポーツ健康都市として、市はさらに本気度を上げて取り組むべきだと思うが、部局横断的な組織をつくる考えはあるか。

**答** 実施主体である県との連絡調整をスポーツ振興課が担当し、部局間にわたる事案については適宜関係部署との協議の場を設けている。また、若手職員によるプロジェクトチームを組織し、スポーツ科学拠点のにぎわいづくりをテーマとして、人材育成などの観点を踏まえ、政策を企画立案する取り組みを進めている。

**問** この施設が整備されれば、本市はさらに発展する。このようなチャンスはなかなか巡ってこない。市長の思いと、まちづくりに対する考え方、方向性を伺う。

**答** この事業は本市の発展に大変有意義であり、多くの来訪者やアスリートとの交流機会の創出などが期待される。半世紀にわたって愛されてきた、さいたま水上公園跡地の再整備で「するスポーツ」「みるスポーツ」「ささえるスポーツ」の機会を提供し、にぎわいの創出、ひいては本市の発展につなげることに、スポーツの中心地として再び地域の誇りとなるよう、事業に協力していく。

### その他の質問

- 低体重児出産

## 誰もが幸せな人生を 送ることができる支援を

佐藤恵理子（無党派）



**問** 高齢者介護においては、介護サービスを受けるための費用が生活を圧迫し、金銭的に介護サービスを受けられず、親子共倒れをしてしまうケースがあるが、本市の現状を伺う。

**答** 経済的な問題で生活に不安を感じている人に対しては、くらしサポート相談窓口などを案内している。

**問** 介護疲れによる自殺について、市は現状を把握しているか。

**答** 厚生労働省によると、昨年の自殺者は全国で2万1837人で、そのうち介護、看病疲れが原因・動機であった人数は348人となっている。神戸市では、認知

症事故救済制度という制度がある。認知症と診断された人が事故を起こしたときに備えて神戸市が賠償責任保険に加入し、見舞金の支給などを行うものである。本市でもこのような制度の導入を検討してほしいが、現状での認知症の人や家族への支援内容を伺う。

**答** 認知症ガイドブックの作成、認知症初期集中支援チームの設置、チームオレンジの立ち上げ支援を行っている。また、家族支援として介護家族会、オレンジカフェなどを開催している。さらに、徘徊高齢者等探索サービスを提供している他、令和3年度からは成年後見制度を適切に利用できるようにサポートする成年後見センターを設置した。

### 市民に愛される丸山公園整備と 他公園遊具の設置は



浦和三郎（政策・市民の声）



**問** 丸山公園大型遊具リニューアル計画の進捗状況は。

**答** ふるさと納税型クラウドファンディングなどを実施し、総額284万7420円の寄付金をいただいた。大型複合遊具とインクルーシブ遊具の工事は9月ごろをめどに発注し、来年3月末までの完成を目指している。

**問** かい掘り後の大池の状態と、今後の計画を伺う。

**答** 5月には池底が見えるほど透明度が回復し、多様な水草や湿生植物の再生、カイツブリの繁殖、他にも珍しい昆虫が確認された。また、絶滅危惧IA類に指定されているミズ

アオイも確認されたが一年草であるため、今後、大池内で生息域を拡大できるかは我々の取り組み次第と認識している。今後も、市民ボランティアの協力を仰ぎ自然再生活動を継続していく。

**問** ゆりが丘公園の木製複合遊具は何年何月に撤去したのか。

**答** 令和2年3月に撤去した。

**問** ゆりが丘公園の整備計画は27年後となっているが、遊具の設置計画は。

**答** 市では公園遊具などの寄付事業の実施に向けた取り組みを進めている。ゆりが丘公園における遊具の設置も寄付事業を視野に入れて検討していきたい。

#### その他の質問

- 教育行政
- 健康福祉の現状

### シビックプライドの醸成を



荒川昌佑（政策・市民の声）



**問** 定住促進事業のターゲットと、これまでの効果を伺う。

**答** 子育て世代を主なターゲットとして各種施策を推進している。令和3年から昨年までの3年間で20代から40代の子育て世代が2309人の転入超過となっているなど、ここ数年、市全体の転入超過が続いている。

**問** 上尾で生まれ育つ子どもたちにも、地元への愛着や誇りを持つてもらいたい。現在、上尾駅や北上尾駅でも流れている上尾市歌は、学校で教えられているのか。

**答** 市内小・中学校音楽会に出場する学年を中心に指導している。

#### その他の質問

- 各種計画
- 教育環境

**問** 先日開催された「上尾串ぎようぎ」のイベントには、2千人の来場があった。普及に向けてコンビニで売ったり学校給食へ出したりすることも効果的だと思いが、見解は。

**答** コンビニでの販売や学校給食での提供については、現在、上尾串ぎようぎの提供店舗の多くが個人飲食店であるため、一度に大量の食数を安定的に供給することが難しいものと考えられる。しかしながら、今後、上尾串ぎようぎを普及促進していく上で効果的な手法と認識しており、販路拡大や認知度向上のための対応策の一つとしてその可能性を研究していく。

### 子どもたちが安心して 登下校できる環境を



新道龍一（志誠ネット）



**問** 通学路には危険な箇所もあるが、迂回したりする通学距離や見守りボランティアの増員などの課題が多い。学校の安全を見守るボランティアの現状と課題を伺う。

**答** 自治会や学校応援団、PTAなどの協力の下、通学路で交通量の多い交差点など危険性の高い箇所を中心に、見守り活動をしていただいている。課題は、ボランティアの高齢化や、地域により人員の確保が困難になっていることである。

**問** このボランティアは無償であり、活動には限界がある。例えば、見守りボランティアへの補助金など、日々の

活動をねぎらう形での支給はできないのか。  
**答** 児童生徒が安心、安全に登下校できる環境を整備することは大変重要であると考えている。見守りボランティアの在り方については先進事例も参考に研究をしていく。

#### その他の質問

- デジタル住民票NF



交通量が多い箕の木地区の交差点

# アップピー元気カードを使って フレイル予防を

樋口 敦 (政策・市民の声)



**問** カードの発行枚数と配布方法は。

**答** 本年5月末現在、約6千枚配布している。配布は、高齢介護課や支所、出張所の窓口の他、各種団体を通じて行っている。

**問** 協力店舗数と協力要請の方法は。

**答** 5月末現在、61店舗である。協力店舗の募集は上尾商工会議所や上尾市観光協会などを通じて店舗に案内文を送付する他、電話や訪問などで個別に協力を依頼している。

**問** カードの発行枚数を増やすのも協力店舗を増やすのも、まずはこの事業を知ってもらう、どこで使えるのかを分かりやすくするこ

とが重要だと思うが、事業の周知はどのように図っているか。

**答** 広報あげおと市ホームページに事業内容などを掲載している他、支所、出張所や市内公共施設などへポスターを掲示している。また今後は、自治会への回覧やデジタルサイネージを活用するなど、さらなる周知を図っていききたい。

**問** 今後の方向性は。

**答** 利用者や協力店舗が多いほど効果が高まる事業である。事業の拡大には認知度向上を図ることが最も重要であると考えているため、周知を強化するとともに、各種イベントでカードを配布するなど、積極的な取り組みを実施していきたい。

その他の質問  
●部活動の地域移行

# 平方のまちづくりを問う

井上淳子 (日本共産党)



**問** 丸山公園は大型遊具の設置などにより、今後、人出が増えることが予想される。駐車場場拡張やトイレ整備の予定はあるか。

**答** 現時点で駐車場の整備する予定はないが、必要に応じて多目的広場を臨時に開放する。トイレ整備は計画に基づき検討していく。

**問** 休館中のわくわくランドは市内唯一のプールと浴場がある施設で、市民の健康増進のためにではなくてはならない。再開の予定は。

**答** 現在、温水配管の調査を実施しており、その結果を踏まえ対策を決定する。早急に再開できるように努める。

その他の質問  
●開平橋交差点付近

の市道10665号線では慢性的に渋滞が発生している。渋滞解消、安全確保のために道路幅などはできないか。

**答** 道路の拡幅には大幅に形状を変更しなければならず、現状では予定していないが、道路形状の変更を要しない路面標示などでの安全確保を検討していく。

**問** 空き家を活用し、若い世代を呼び込むための取り組みは。

**答** 空き家所有者に対して建物の除却などの提案を行い、不動産流通を図っている。空き家を地域コミュニティ資源として活用することについては、国の施策を注視していく。

その他の質問  
●香害・化学物質過敏症  
●学校給食施設基本計画(素案)

# 防災力強化の取り組みを

轟 信一 (日本共産党)



**問** 現在の水道管の耐震化率は。

**答** 昨年度末現在で、管路延長約830キロメートルのうち約256キロメートル、約30%が耐震化済みである。

**問** 家具転倒防止器具の取り付け補助制度の創設予定は。

**答** 関係部局や関係団体と連携し、災害時要配慮者がいる世帯などを対象とした支援策を検討している。

**問** 食料、水などの備蓄はどの程度あるか。

**答** 埼玉県地域防災計画や上尾市地域防災計画では、食料や生活必需品について、指定避難所の避難者用として県と市でそれぞれ避難者数の1・5日分、合計3日分を備蓄することと定めているため、想定最大人数である1万1613人の1・5日分を備蓄している。

**問** 地域の防災力を高めるため、女性や若者の力をどのように生かしているか。

**答** 各指定避難所に割り当てる市職員4人のうち、女性を1人以上配置している。また、昨年度の住民避難訓練には各地区の中学校から4校、35人の生徒が参加した。さらに、上尾市防災士協議会と連携して市内小・中学校などを対象に研修会を実施するなど、若者や女性の防災意識の向上を図っている。

その他の質問  
●児童保育所の現状と今後  
●選ばれる、住み続けられるまち上尾

### 高齢者が地域で暮らすための 支援の充実を

新藤孝子（日本共産党）



**問** 市は、高齢者が住み慣れた地域で自分らしく輝き続けるまちを目指すとしている。ところが、国は深刻なホームヘルパー不足に拍車をかけるように、4月から訪問介護報酬を引き下げた。在宅介護などへの支援の充実が求められるが、利用料の軽減制度はあるか。

**答** 要支援、要介護認定を受けている人で一定の条件を満たした場合、介護老人福祉施設などを利用した際の居住費と食費の負担軽減の制度がある。

**問** 利用料の軽減も、8月から負担額の一部が引き上げられる。居住費が1日当たり60円、月に2千円弱の負

### 公共施設のネーミングライツは 見直しを

平田通子（日本共産党）



担増である。こうした負担増などにより、必要な介護が受けられない人もいる。自宅で介護を受けている家族が、介護サービス以外で受けられる支援はあるか。

**答** 要介護4または5の高齢者を在宅介護する人を対象に、要介護高齢者介護者慰労金の支給制度がある他、居場所探索の端末機を貸与する徘徊高齢者等探索サービスなどがある。

**問** 国が訪問介護の報酬引き下げを行ったことで、介護事業者に影響はないのか。

**答** 現在のところ、市としては報酬引き下げの影響に関する相談は受けていない。

**問** 突然、文化センターが「あげお富士住建ホール」に、コミセンが「三井金属あげおコミュニティセンター」に変わり多くの人が戸惑っている。ネーミングライツ導入の経緯は。

**答** 財源強化策として検討を進める中、議会における提案もあり、令和元年に実施要綱を策定した。令和4年には上尾市民球場に対して初めて導入された。

**問** 市民に親しまれてきた名前を残せなかったのか。今後の計画は。

**答** 命名の自由度を高め参加意欲を妨げないよう、「上尾」の名称を含めることなどの一定の条件にとどめた。現在はプラザ館、イコ

### 市内保育施設の 持続的な経営に向けて

津田ひとみ（無党派）



ス上尾、市民体育館に加え、都市計画道路5路線を募集している。

**問** 市民や議会の意見は聞いたのか。

**答** 個別の施設に関し市民への意見聴取は行っていない。また、行政が判断を行う範囲内と認識しており、要綱は市長決裁で制定した。

**問** 蕨市や川越市では導入しておらず、さいたま市や川口市でも市民会館には導入していない。市民の財産である公共施設にネーミングライツを導入することとは見直してほしいが、市長の考えは。

**答** 歳入増の取り組みは重要であり、今後推進、拡大を図る。

**問** 近年、保育士不足が深刻になっている。本市では保育士を確保するために、どのような施策を行っているか。

**答** 県の補助事業として、私立の保育施設への保育士宿舍借上支援事業を実施している。また、市の独自事業として、潜在保育士復職支援セミナーを毎年実施している他、本年度から市内の公立、私立の保育施設が合同で保育士就職説明会を開催する。さらに、私立の保育施設が新卒保育士や潜在保育士を採用した場合、就労支援金48万円を支給する事業を実施予定である。

**問** 今後の保育施設数を伺う。

**答** 本年4月に私立の認可保育園を1園、小規模保育園を4園開設し、保育の受け皿の拡充を図った。さらに来年4月には私立の認可保育園を3園開設し、新たに保育の受け皿を255人分拡充する予定である。

**問** 国では、保育需要が2025年にピークを迎え、その後ゆっくり減少していくものと見込んでいる。本市では、今後の保育需要をどのように見込んでいくか。

**答** 本年3月に策定した上尾市保育環境整備計画では、本市の保育需要は現時点では2036年ごろまで増加し続けるものと見込んでいる。

#### その他の質問

- 市民を犯罪から守るための支援を
- 未来を担う子ども・若者に支援を

#### その他の質問

- もっと便利なるつとくんに
- 子どもが主人公の学校に

#### その他の質問

- 交通安全への取り組み

## 地域公共交通における 官民の共創は

金澤祥子（無党派）



行う「エリア一括協定運行事業」に対し支援を実施している。本市が取り組む考えは。

**問** 地域公共交通において、運転手の不足や高齢化、人口流出の抑止、事業者の存続問題など多くの課題があるが、これらの解消に向けた取り組みを伺う。

**答** 国の取り組みでの効果検証を注視し、本市の地域特性に合致したものがあれば検討していく。なお、本市でも市内事業者の送迎バスやスクールバス、病院、商業施設の送迎サービスなどの地域資源を市民の輸送手段に活用できるか検討する。

**答** 国のリ・デザイン（再構築）で掲げている他分野との共創による多様な輸送資源を活用した移動手段の確保、交通DX（キャッシュレス決済の導入）、交通GX（EVバスの導入）などは、上尾市地域公共交通計画とも合致した取り組みである。本市も地域資源の活用や効率化に取り組む他、国の施策を活用可能か検討する。

**問** 国は、自治体と事業者が協定を締結して

## 子どもの居場所づくり／障がい者福祉施設

矢口豊人（政策・市民の声）



**問** 子どもの居場所づくり、児童の利用者が加速度的に増えており、施設整備を含め、今後の方針を大きく見直す時期と感じる。特に入所希望は早めに把握することが必要だと思いが、改善の方策は。

**答** 国では、施設入所支援の整備を削減する方向にあることから、事業所に対して、重度心身障がい者が利用できる共同生活援助の整備を案内していく。市としては、引き続き相談支援事業者と連携し、入所待機者などへの支援を実施していく。

**問** 放課後の子どもたちの居場所づくりについて、教育長の考えは。

**答** 学校施設は教育財産であるとともに、公有財産でもある。今後も、学校教育に支障のない限りにおいて惜し

まずに協力していく。障がい者福祉施設その家族の高齢化が進み、入所型の施設に入りたいという人が増えている。市内には、入所型施設が県リハビリセンターなど2つしかない。施設整備の課題や対策は。

**問** 学校施設は教育財産であるとともに、公有財産でもある。今後も、学校教育に支障のない限りにおいて惜し

## 学校トイレの洋式化／公共施設トイレの洋式化

原田嘉明（志誠ネット）



**問** 大石中学校の保護者や生徒からトイレを洋式化してほしいとの要望があり、私もトイレの雨漏り対応とともに要望してきた。雨漏りは昨年度中に対応してもらい、生徒からも感謝の声を聞いている。トイレの洋式化は、本年度中の改修を予定しているか。

**答** 本年度、一部の和便器を洋便器に改修する予定である。なお、工事中はトイレを使用できなくなることから、夏季休業中の施工を予定している。

**問** 公民館では、高齢女性が和式トイレを利用した際に立ち上がりづらく、職員が介助したり、洋式トイレに長蛇の列が頻繁に発生したりしている。これを踏まえ、現状と今後の対応を伺う。

**答** 上尾公民館は4階の1カ所を除き洋便器であり、その他の公民館は男女各トイレに洋便器を1基設置している。また、原市、畔吉両集会所は建物面積の都合上、男女共用の洋便器を設置している。今後、高齢者への配慮などの必要性も認識しており、施設全体の老朽化に伴い、トイレを含めた施設全体の改修を検討していく。

**問** 公民館では、高齢女性が和式トイレを利用した際に立ち上がりづらく、職員が介助したり、洋式トイレに長蛇の列が頻繁に発生したりしている。これを踏まえ、現状と今後の対応を伺う。

**答** 上尾公民館は4階の1カ所を除き洋便器であり、その他の公民館は男女各トイレに洋便器を1基設置している。また、原市、畔吉両集会所は建物面積の都合上、男女共用の洋便器を設置している。今後、高齢者への配慮などの必要性も認識しており、施設全体の老朽化に伴い、トイレを含めた施設全体の改修を検討していく。

### その他の質問

- 犬猫の啓発活動
- 子宮頸がんワクチン



入所施設のある埼玉県総合リハビリテーションセンターを視察

### その他の質問

- 学校での避難訓練
- 学校での災害対応
- 避難所開設と訓練
- 防災、災害の考え方
- トイレに対する認識

# 環境センターの整備は 知恵を出し合って進めて

秋山かほる（無党派）



**問** 上尾伊奈ごみ広域処理施設の構想を持つのは市の責務ではないのか。また、埼玉県の「彩の国資源循環工場」に対する評価は。

**答** 施設整備は上尾伊奈資源循環組合の所管事務であるため市が直接提案する予定はない。彩の国資源循環工場は公共関与による全国初の総合的資源循環型モデル施設と聞いており、今後の資源循環の指針の一つと捉えている。

**問** 西貝塚環境センターの延命工事に3年間で約53億円かかるようだが、県の施設は25年間の運営費が約48億円である。市民の税金を無駄にしない形で、延命工事の再検討を求め

るが見解は。

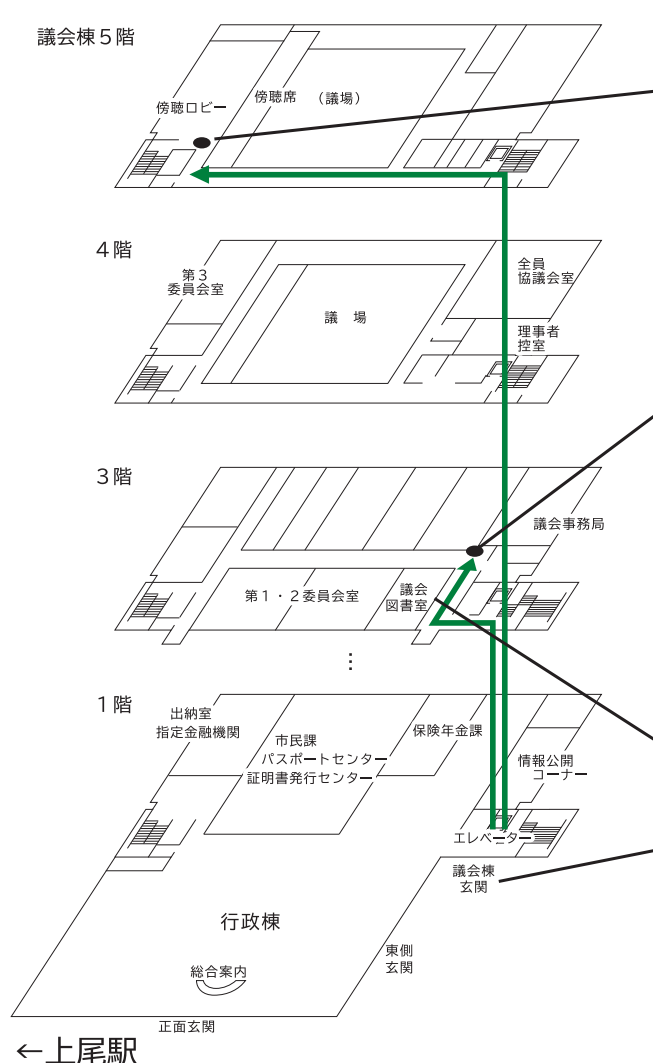
**答** 県の施設と西貝塚環境センターの延命工事には、いずれもPFIの事業手法を採用したが、手法や費用の対象が異なる。県の施設の約48億円は事業基盤、公園緑地、研究施設の設計・建設・維持管理料であり、西貝塚環境センターの約53億円は設計を含む工事費であるため、比較の対象とするのは難しいと考える。なお、西貝塚環境センター基幹設備改良事業を再検討する予定はないが、上尾伊奈資源循環組合から新環境センター建設の際にはPFIの導入を検討予定と聞いている。

## その他の質問

- 市の農業食料政策
- 堂平キャンプ場の市民利用
- P F A S

## 傍聴に来てみませんか？

本会議や常任委員会は原則として公開していますので、受付手続きの上、自由に傍聴することができます。なお、傍聴に際してはルールの順守をお願いしています。ご不明な点がございましたら事務局職員にお尋ねください。



5階：傍聴ロビー

本会議を傍聴される際は、こちらに直接お越しください。受付簿をご記入後、傍聴席へご入場いただけます。傍聴席は56席の他、車椅子用スペースが2席あります。



3階：議会事務局 (窓口)

常任委員会は3階の第1・2委員会室で開催されます。委員会を傍聴される際は、こちらで受付簿をご記入ください。順次傍聴席へご案内します。委員会における傍聴の定員は7人程度です。



3階：議会図書室

官報や会議録、上尾市資料の他、法律や行政に関する資料を収集・保管しています。市民の皆さまもご利用いただけます。ご利用の際には事務局職員までお声がけください。



1階：議会棟玄関

議会にお越しの際には、議会棟玄関そばのエレベーターをご利用ください。

9月定例会会期予定表

- 8月29日 開会
- 9月3日 質疑、決算特別委員会の設置、委員会付託
- 4日 委員会 (総務、都市整備消防)
- 5日 委員会 (文教経済、健康福祉)
- 6・9～13日 決算特別委員会
- 18～20、24～26日 一般質問
- 30日 閉会

※開議時間は午前9時30分を予定しています。

委員会活動

R6.4.16～R6.7.15



総務常任委員会の審査



都市整備消防常任委員会の審査

\* 9月定例会は、8月29日(木)に開会予定です。

請願、陳情、要望の提出期限は、8月23日(金)午後5時までとなります。

上尾市議会ではインターネットを利用した議会議中継(ライブおよび録画)を行っております。

詳しくは、議会事務局(☎775-9467)へお問い合わせください。

上尾市議会HPアドレス

<https://www.city.ageo.lg.jp/site/shigikai/>



議会報編集委員会

- 委員長 小池 佑弥
- 副委員長 稲村久美子
- 委員 黒須喜美雄
- 委員 田島 純
- 委員 篠原 文子
- 委員 島津 秋男
- 委員 井上 淳子
- 委員 荒川 昌佑

委員会名	月・日	案 件
総務常任委員会	5/22 6/7	・所管事務調査「市の財産(不動産)について」 ・6月定例会提出議案4件、請願1件を審査
文教経済常任委員会	5/22 6/10	・所管事務調査「「不登校対策」に関する提言への対応状況について」 ・6月定例会提出議案1件、請願1件を審査
都市整備消防常任委員会	5/17 6/7	・所管事務調査「上尾市かわまちづくり計画について」 ・6月定例会提出議案6件を審査
健康福祉常任委員会	5/14 6/10	・所管事務調査「市内学童保育所の視察」 ・6月定例会提出議案5件、請願1件を審査
議会運営委員会	5/29～6/21	・議会運営について協議(協議回数5回)
議会報編集委員会	4/18 6/21	・「あげお議会だよりNo.211」について協議 ・「あげお議会だよりNo.212」について協議

— 意見書4件を原案可決 —

6月定例会では、議員提出議案として意見書7件を提出し、4件を可決しました。可決した意見書の件名と提出先は次のとおりです。

- ◆若者のオーバードーズ(薬物の過剰摂取)防止対策の強化を求める意見書  
提出先⇒内閣総理大臣 厚生労働大臣 内閣府特命担当大臣(孤独・孤立対策) 衆議院議長 参議院議長
- ◆聴覚補助機器等の積極的な活用への支援を求める意見書  
提出先⇒内閣総理大臣 総務大臣 厚生労働大臣 共生社会担当 衆議院議長 参議院議長
- ◆災害発生時における信頼性の高い情報連携体制の構築への支援を求める意見書  
提出先⇒内閣総理大臣 総務大臣 国土交通大臣 デジタル大臣 内閣府特命担当大臣(防災) 衆議院議長 参議院議長
- ◆地方創生に貢献するサーキュラーエコノミー(循環経済)の一層の推進を求める意見書  
提出先⇒内閣総理大臣 経済産業大臣 環境大臣 衆議院議長 参議院議長

他市からの行政視察

5月14日	群馬県桐生市	子ども・子育て支援複合施設「AGECOCO」について
7月8日	広島県福山市	
7月10日	長野県塩尻市	
7月11日	愛知県春日井市	西貝塚環境センターについて